THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2016-2017)
国際会長主題：“Our Future Begins Today ”「私たちの未来は、今日から始まる」
アジア会長主題：“Respect Y’s Movement”「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題：ワイズ魂で　更なるワイズの活性化を
中西部部長主題：世界をみつめ、地域とあゆむ
クラブ会長主題：－響き合う心と心－　さらに

Monthly Bulletin
第 237 号
2016 年 10 月

聖書のことば
わたしは大きな声が神殿から出て、７人の天使にこう言うのを聞いた。「行って、７つの鉢に盛られた神の怒りを地上に注ぎなさい。」
（ヨハネの黙示録 16 章１節）
選者　桑原　頼子

10 月第１例会プログラム

日時：2016 年 10 月 12 日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　山佐　亜津子
1. 開会点鐘　杉浦眞喜子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　桑原　頼子
4. ゲスト・ビジター紹介　杉浦眞喜子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. 卓話 ***「小鼓の魅力」***
   高橋　奈王子さん（能楽師、大倉流小鼓方）
8. お誕生祝い
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘　杉浦眞喜子会長

例会当番（D）　受付当番（C）

高橋奈王子（たかはし　なおこ）さんプロフィール
1970 年生まれ、兵庫県在住
公益法人能楽協会正会員
久田舜一郎に師事　大阪能楽養成会卒業
2004 年「猩々乱」、2009 年「石橋」を披く
全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。
久田舜一郎、久田陽春子と共に社中会「松月会」を指導。

９月例会報告

待ち望んだ入会式

国友　朝子

中秋の名前を翌日に控えた９月 14 日（水）ホテルグランヴィア大阪に於いて第１例会を持ちました。その日は私たちが待ち望んでいた瀬島恵子さんの入会式でもあります。またこの日の例会には 10 名ものゲスト・ビジターがお越し下さり、入会式にふさわしいにぎにぎしく華やかなタベとなりました。

司式は杉浦会長です。式は粛々と進み、最後に瀬島さんの「皆さんと一緒にがんばります」の言葉で締めくくられました。その後、月とウサギをあしらったお弁当を新メンバーを迎える感謝と共にいただきました。

今日の卓話には「女性と子ども支援センター・ウィメンズネット・こうべ」代表理事の正井禮子さんをお招きしました。９月はメネット事業強調月間でもあり、タイムリーなお話です。

正井さんは 1992 年に女性と子どもの人権を守り、男女平等社会の実現に向けて地域で様々な活動をするためにウィメンズネット・こうべを発足されました。その後 2013 年に、困難を抱える女性シングルマザーと子どものために居場所 WACCA（わっか）を開設。女性や母子の生活再建を支援されたのです。

〈次頁に続く〉

９　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		B F 統 計	
メンバー	15 名	出席者	15 名	日本 190ｇ	累計 2181ｇ
ビジター	7名	メイキャップ	2名	外国 ｇ	累計 95g
ゲスト	1名	合　計	17 名	現金 円	累計 円
コメット	1名	在籍者	20 名	提供者：生雲、今井、桑原、杉浦、武井、藤好、吉田	
合　計	24 名	出席率	85%		

たとえば、WACCA 勉強塾は学生ボランティアによって支えられていますし、フリーマーケットではいろいろな人々からの古着の寄付で成り立っています。この居場所の一番の目的は、困難な状況にある女性たちや子どもたちに安心と安全を提供すること、とおっしゃっています。

特に、子どもの支援には子どもが信頼できる大人との継続的な関係が必要なのだが、人材確保も続けるのは大変だとのことです。

私たちにできるお手伝いはどんなことかしら……と考えこんでしまいました。

部　会　参　加　報　告

中部部会　8月28日（日）名鉄ニューグランドホテル

保田　圭子

今年の中部部会は今井さんと行きましたので、初めてメネット会から参加しました。今年は様々な理由で不登校になっている子供たちの支援ということで、不登校の子供たちが再び夢や希望をもって自立できるようにサポートしているフリースクール「箱崎自由学舎えすぺらんさ」の代表、小田哲也さんのお話でした。続く中部部会での基調講演は「国際協力の意義」と、題して外務省参与 NGO 大使の五月女光弘さんのお話でした。国際社会は助け助けられるもの、日本の史実をみても戦後の日本が国際社会にどれだけ助けられたことか、を考えれば恩恵に報いることこそが国際貢献である。国は軍事力では守れないということを、静かな口調で力強く話されました。どちらの話も弱者に対する暖かい目線が感じられ私たちも応援したいと思いました。その前に河村たかし名古屋市長も来られ「日本一給料の少ない市長です」と、名古屋弁で話はじめられ、ナンだナンだ、と思いながら聞いていましたらやはり子供のこと、社会の弱者のことを考えていきたいとうまく締めくくられました。熱く語る人、静かにせまる人、斜にかまえながら結局上手にまとめる人、みんな聞きごたえのあるお話しでした。

懇親会ではいろんな人とおしゃべりして、なかのしま 20 周年のアピールもしっかりしてきましたよ。もう１つ、前中部部長荒川恭次さんが台湾での国際大会で「エルマークロウ賞」を受賞され、遠藤通寛前理事から賞状が渡されました。

中西部部会　9月3日（土）ホテルグランヴィア大阪

鳥居　翠

秋とは名ばかりの暑い日に 120 名余りの参加者で、あちらこちらでご挨拶と握手の応酬です。

昨年度は会長として参加したため何が何だかわからない間に終わってしまった部会ですが、今年度はちゃっかり『お客様』な気分で座っておりました。中西部長の開会点鐘がありスタートです。恒例のバナーセレモニー、今年度は少し趣向があり各会長のご挨拶と一言メッセージ。杉浦会長の力強いバナー掲揚と 20 周年のメッセージ成人式を迎えるなかのしまらしいセレモニーでした。

セレモニーの後は講演です。5月に行われた『うなぎの森』イベントにご協力いただいた高槻の神峯山寺のご住職の近藤正道氏によるお話です。5月の神峯寺でのお話のときにも思いましたが、お坊さんというより近所の気のいいオジサマといったお話振りで、ご自身もロータリークラブの留学生の受け入れをされているとのことでしたが苦労されたお話をいとも簡単なことのように話されるロぶりはさすがだなぁと思いました。

講演でしっかり笑い、おなかもぺこぺこになったところで懇親会の始まりです。ヴァイオリン＆ヴィオラのアンサンブルに耳を奪われ、心もおなかも耳もすべてが満足した中西部会でした。終了間際にはメネット事業の一環の熊本地震支援の太平燕とふりかけを買って。カバンまで満足して帰路につきました。

阪和部部会　9月4日（日）和歌山 YMCA

藤井　弥生

台風 10 号や豪雨等の被害が各地で起こり、予定では台風 12 号が来るとのことでしたが、大丈夫でした。

バナーセレモニーから始まり新人会長３名（代理１名）の方も堂々と誇らしげに入場されました。生駒阪和部部長の主題「ワイズの種を蒔こう。そして育て、実りの収穫を！」7 月に種を蒔きました。そして育てて、良い収穫をするために、活力ある阪和部に躍進しよう。頑張ります。と話されました。

講演は「稲むらの火の館」館長　﨑山光一様のお話。和歌山県有田郡広川町に、1854 年 11 月５日安政の大地震によって大津波が来た時、濱口梧陵は自身の田にあった、稲むら（刈り取った稲の束）に火をつけて、安全な高台にある広八幡神社への避難路を示す明かりとして村人の多くの方の命を救ったそうです。津波から命を救えるのは、情報の伝達の速さが関わっていて、以後、濱口梧陵は破損した橋を修理するなど復旧に努め、しっかりした堤防を造り、海側には松の木、土手側にははぜの木を植え、広村堤防ができたそうです。津波災害から大切な生命を守ること、大変勉強になりました。

アピールタイムでは第 20 回西日本区大会「地震を乗り越え未来につなぐワイズ魂ーわきあがる感動を熊本から」と熊本の方たちと多くの応援の方たちの盛大なアピールでした。大阪なかのしまクラブは、今井さんが「なかのしま 20 周年」のこと、初めての女性だけのクラブの始まりなどいろいろアピールしてくださいました。

京都部部会　9月 11 日（日）京都グランドプリンスホテル

藤好　基子

420 名余りの参加者を迎え開催されました。

当日、チャーターされた「北京都フロンティアワイズメンズクラブ」を含め、19 クラブのバナーセレモニーで第１部が始まりました。廣井京都部部長は「ワイズメンの活動は自主参加・自己研鑽です。京都部のメンバーが一同に会するのはこの部会だけなので、この機会に大いに交流を深め、ワイズダム発展のために新たなる道を開いて下さい」と挨拶された。＜京都部会はフェスティバル＞と位置づけ、楽しい部会になるようにホストクラブの京都プリンスクラブのメンバー＆メネットさん始め参加メンバー達も「楽しもう」と笑顔が溢れていました。いつも京都部会に参加して思うのは、京都 YMCA と京都部ワイズメンの仲が良いことです。京都 YMCA 総主事の神埼さんのご挨拶は、YMCA とワイズメンは伴走者と例えられ、言葉の端々に感謝があふれて聞く者に気持ち良いものでした。

第２部は「のびっこ太鼓」と「洛北高校　吹奏楽部」の熱のこもった演奏と、京都 YMCA の国際協力・青少年支援活動が映しだされました。様々なワークボランティアとしてワイズメンの役割を果たす姿は美しいなぁ～と見とれているうちに、第３部の懇親・交流会が始まり、ワイワイ、がやがやと賑やかに交流が続きます。何と言ってもワイズメンの元気の源は交流に尽きると感じる長い一日でした。20 周年アピールにはトゥークラブさんの機転の効く対応で無事に出来ました、感謝です。

なかのしまの 20 年

杉浦　眞喜子

4．クラブ活動

私たちはチャーター前から「ミャンマー支援」を一つの活動の柱としてきました。それは、最初に書きましたように早い時期から山地和家子さんが加わって下さっていて、彼女が既にミャンマーでの縫製指導に関わっていらっしゃったからです。「ワイズ」と言ってもなかなか理解してもらえない、中身が見えないので誘いづらいなどとよく言われますが、その点「ミャンマー支援」は、結構メンバー集めの「目玉」になり、山地さんの活動に共感して加わって下さったメンバーも多かったはずです。しかし後で少し述べるように、この活動とワイズとしての様々な活動のバランスに疑問を持ったり、つまずいたりする方がいらっしゃったのも事実です。

とは言え、この「ミャンマー支援」は、ずうっと私たちの大事な地域奉仕活動でしたし、「なかのしま」と言えば「ミャンマー」と自他共に認めるものとなっていきました。ミャンマー関連で、私たちは３回も西日本区の CS 資金援助を頂きました。１度目は 2000 年の MCC（ミャンマーキリスト教協議会）の「障がい者援助プログラム」のためにミニバスを送るプログラム、２度目は 2002 年に MCC から６名の女性を研修生として受け入れ、大阪 YMCA で開いた「ミャンマーの夕べ」を中心とするプログラム、そして３度目は 2006 年多くの方々から寄せられた「支援物資をミャンマーに運ぶツアー」に対してでした。

その他にも、様々な支援を行ってきました。旅費や材料費の一部を支援することで山地さんの縫製指導の活動を応援することをかなり長く続けましたし、マンダレー YMCA のチャイルドケアプログラムの支援も 2003 年頃から毎年続けてきました。そして、2007 年２月のチャーター10 周年記念行事には、マンダレーYMCA 総主事（現ミャンマーYMCA 同盟総主事）マウンマウン・ウインさんご夫妻を招待し、私たちのミャンマーへの思いを確認する機会としました。

しかし皮肉なことに、この頃から山地さんの活動がどんどん広がり、私たちの関わり方に迷いが出てきました。また以前ほどミャンマーの方たちとの具体的な関わりも少なくなり、「お金を出すだけで、顔の見えない」支援になりつつあることに疑問を感じるようになりました。全くミャンマーを知らない新しいメンバーも加わって、私たちはここ数年ミャンマー支援のあり方を模索し続けることになっています。

ただ、私たちはミャンマー支援だけを続けてきた訳ではありません。その時その時に大事だと思うことにも心を寄せ、関わろうとしてきました。いろいろなやり形で支援活動をしましたが、その一つにチャリティーコンサート／チャリティー公演があります。第１回は「ミャンマー支援」（2001 年）、その後「介助犬育成資金支援」（2001 年）、「絵本作り大作戦支援」（2004 年）再び「ミャンマー支援」（2008 年）そして「豊島神愛館支援」（2011 年）、「東日本大震災復興支援」（2014 年）など、企画からチケット販売、当日の進行まで、「全員参加のなかのしま」の本領発揮、毎回皆で達成感を味わうことができました。

コメットに手を引かれて

武井　和子

明るい笑み

美帆の障害が判明したのは小学校入学前、私立の小学校を受験して初めて知りました。幼稚園の先生たちも気づかず、元気で明るく、全身でリズムをとり、お遊戯や、歌を唄う姿を、今もはっきりと覚えています。

幼稚園のころから、女の子が習うおけいこを一通り習わせました。ピアノ、バレー、水泳など、でも続かない、当時は理由が分かりませんでした。入学前に大阪大学病院で診察を受けて、知的障害と診断されました。

それからは、私と美帆は色々な事に挑戦し、少しでも向上するように奮闘しましたが、良い結果を得ることがなく、義務教育が終わりました。その頃の私は他人の視線が気になり、主イエスの事は全く眼中になく、祈ることをわすれ、教会の存在も忘れ、きっと鬼のような形相で美帆を縛りつけていたと思います。小さな高校に入学して、自分の居場所を見つけて元気に通学している美帆を見て、私にも気持ちに余裕が出来たのか、再び教会の門をくぐりました。

ある日「美帆に洗礼を受けさせよう」と思い立ち、牧師に電話し「美帆でも受洗できますか」と。そして、1994 年のクリスマスに受洗しました。神様からの啓示だと今も信じています。

もう一つの神様から頂いたプレゼントは、「アトリエゆうハウス」と“さをり織”です。最近見違えるほど腕を上げ、とてもきれいな作品を仕上げます。

大江光さんや盲目のピアニスト辻井信行さんの成果は、才能に気づいたご両親の努力と素晴らしい先生の教えの結果、勿論本人の努力の賜物、経済力が大きいと思います。才能を見抜いても親に経済力がなければ、なかなか手を差し伸べるのは難しい。美帆は音楽を聴くことは大好きですが、楽器を奏でることは苦手！　ゆうハウスでさをり織を織ることを楽しみ、その作品を褒めて頂くことが喜びであり満足しているようです。

彼女の楽しみは、日曜日に教会の礼拝に出席する事、そしてなかのしまクラブのコメットとして例会に参加する事です。８月の合同納涼例会で嬉しそうな笑みを浮かべた写真を今井さんから頂きました。幸せ一杯の笑みです！

YMCA ニュース

☆第 282 回　早天祈祷会

日時：2016 年 10 月 21 日(金)7：30～8：30

証し：大橋　昌美さん（ＹＭＣＡエイジングセンター・
ＹＭＣＡ国際文化センター　事業長）

場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10 階チャペル

☆とさぼりカーニバル

今年度も 11 月３日（祝・木）に開催されます!!

今年もよろしくお願いします!!。

朝晩がだいぶん涼しくなり、もう秋の気配がしてきました。光輝く夏に比べて少し心寂しい感じもしますが、実り多い秋を楽しみたいですね。

大橋昌美

ニコニコ献金　9月　19,030 円

〈ニコニコメッセージ〉―　9月例会　―

☆とてもよい聖書のことばを頂きました。思い煩うことが多いのですが、少しほんわかした気分になりました。
（ゲストスピーカー：正井禮子）

☆久しぶりに出席させていただきました。今、問題になりつつあるお話です。身近な事としてお聞きしたいと思います。
（大阪セントラルクラブ：入江政江）

☆メネット会に参加を杉浦会長にお願いしましたら、たくさん来ていただいてありがとうございました。
（大阪セントラルクラブ：澄川菊代）

☆入会式おめでとうございます。お久しぶりです。今回はなかのしまさんらしい女性問題のお話を聞きたくて参加しました。ありがとうございました。
（大阪土佐堀クラブ：丹吾　礼）

☆入会式に立ち会えたこと、幸せでした。
（大阪センテニアルクラブ：中村幸枝）

☆お久しぶりです。乙姫さまに会うのが２カ月おくれる？！入会者うまく育ててください。（大阪茨木クラブ：三牧　勉）

☆いつもながら、賑やかで華々しい一時を楽しませてもらいます。（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆瀬島さん、入会おめでとうございます。ワイズライフを楽しんでくださいね。（生雲）

☆久し振りの新しいメンバーを迎えられ、江見さんの御順調をお聞きし、万々歳の９月例会でした。松下さんもリハビリ中とか、早く全員集合 20 周年のお祝いに向けて go。
（今井）

☆東京の友人から、古着が送られてきました。分け分けしてバザーに持参。“もったいない” 心を大切にと友人の言葉がうれしかった。（大岸）

☆若い頃はボランティア活動に関心がなかった。WACCA 塾を支えている学生さんはじめ若い人々に心から敬意を払います。（国友）

☆新しい仲間が増えて、とにかくうれしいです。正井さんのお話、興味深く聴かせて頂きました。（杉浦）

☆今日からゲスト卒業！！皆様にご迷惑掛けない様頑張ります。宜しくお願いします。（瀬島）

☆わたしのコラムを読んでいただいて、真剣にグループホームの事を考え、障害者の事を思って下さる方が、なかのしまクラブに大勢いらっしゃる！　嬉しい、勇気が出ます。ありがとう！（武井和子）

☆瀬島さん入会式おめでとう。今日はとてもうれしいです。
（武井美帆）

☆今月から新メンバーさんが増えました。なお一層にぎやかな女子会が毎月開かれそうです。（鳥居）

☆瀬島恵子さんの入会式、新鮮な気持にまた心あつくなりました。そして私自身の時のことですが、司式を読んで武井和子さんの入会式のことを懐かしく思い出しました。
（藤井）

☆ちょうど前の週に買った「ビッグイシュー」に、正井禮子さんの記事が記載されていて、お会いするのを楽しみに例会に！　困難なお仕事を笑顔で進めて来られた柔軟な女性はカッコいいですね。（藤好）

☆少し涼しくなりましたか？？誕生月にみなさんとお会いできてうれしいです。瀬島さん入会おめでとうございます。うれしいです。（保田）

☆中津にある国際学校に、新しい幼稚園校舎が完成しました。子どもたちが、のびのびと過ごしています。（山佐）

☆瀬島恵子さん、なかのしまクラブへご入会、ご一緒に楽しみましょう！（吉岡）

☆知っていながら知らんふりをしていた内容だったので、心騒ぎを感じながら聞きました。今後どう考えて行けば良いのかしら。（吉田）

☆９月も 10 日が過ぎましたのにムシムシして……。今夜のお話がたのしみです。（渡辺）

欠席者メッセージ

★今回の例会は阿南海洋センターでのプログラムで出席できず残念でした。いつかみなさんで一緒にジャンボカヌーを漕いで野々島めざし「なかのしま阿南海洋例会」などいかがでしょうか（笑）。（大橋）

★夏場は真夜中でもランニング、ウォーキング、自転車でフラフラしている人が多いです。信号待ちをしている人がいてビックリ！（真夜中に外を見ている私のほうが……？！）私なら日中でも左右を見て赤でも渡るのに。（桑原）

９月第２例会報告抄

日時：2016 年９月 21 日（水）18；30～20：30
場所：大阪 YMCA　504 号室
出席者：16 名

1. 新入会員の瀬島恵子さんをクラブファンド事業委員に任命し、当番は A 班とした。
2. 土佐堀カーニバル（11 月３日）の持ち寄りバザーへの出品物は倉庫に保管し、10 月第２例会の前に値段付を行う。
3. 次期中西部事業主査に鳥居翠さんを推薦することとした。地域奉仕・環境事業主査を希望。
4. メネット事業支援として、国際、国内プロジェクトにそれぞれ 5,000 円を送金することとした。
5. ９月 21 日に六甲山 YMCA にて行われた「アトリエゆうハウス」の BBQ には、当クラブより７名が参加交流したとの報告を受けた。

《《《　お知らせ　》》》

◎清水さん（今井さん友人）から、献金と BF 使用済み切手を頂きました。感謝。

◎丹吾　礼さん（大阪土佐堀クラブ）から、郵送用切手を頂きました。感謝。

◇10 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
吉田　由美　７日

編　集　後　記

秋になるといつも行ってみたいと思うのが富山県の「風の盆」である。哀調を帯びた胡弓の音と、編み笠を深々とかぶった踊り手たちのよそおいが印象深い。